

平成23年度 人権教育指導者研修会

～ 講師紹介 ～

第1回 11月17日(木)

○高齢者虐待と人権 「高齢者を虐待から守るために」



日本高齢者虐待防止センター事務局長 **梶川 義人** (かじかわよしと) 先生

ソーシャルワーカーや特養老人ホームの業務アドバイザーを務めた後、2000年高齢者虐待防止センターの前身である研究会に参加して、虐待問題に取り組む。淑徳短期大学兼任講師、埼玉大学、首都大学の非常勤講師、多くの自治体で高齢者虐待防止に関するスーパーバイザー等を歴任、また講演や研修を行う。

「高齢者虐待防止トレーニングブック 発見・援助から予防まで」等、著書多数

第2回 11月24日(木)

○同和問題と人権 「人の心にひそむ差別意識と対峙する」

講師 **旭堂 南陵** (きょくどうなんりょう) 先生

NHK朝の「やんちゃくれ」(天神堂梅林役)等のドラマや舞台出演など、幅広く活動する上方講談界の第一人者。ゆかりの地の「人物伝」や「社長さん一代記」等のオリジナル創作講談も好評。2001年芸術祭優秀賞、2004年大阪文化祭賞グランプリ他受賞多数。2011年に寄席芸人初の博士号取得。今も残る「部落差別」等、心にひそむ差別について歴史的に解明して対峙。講談も乞うご期待!



第3回 12月 1日(木)

○ハンセン病元患者と人権 「しがまっこ溶けた～詩人桜井哲夫との歳月～」



字幕制作ディレクター **金 正美** (きむちよんみ) 先生

19歳の時、ハンセン病療養施設国立療養所栗生楽泉園を訪れ、全盲の詩人桜井哲夫と出会い、祖父と孫娘のような交流を続ける。2005年社会貢献支援財団より21世紀若者賞受賞。2007年ローマ法王ベネディクト16世と謁見。著書「しがまっこ溶けた～詩人桜井哲夫との歳月」(NHK出版)は、読書感想文等で多くの学校が教材としている。

第4回 12月 8日(木)

○いのちと人権 「agin～であいふたび」



— 生きる力を育む家庭・地域の絆づくり —
教育評論家 **廣中 邦充** (ひろなかくにみつ) 先生

大学卒業後、ソニーに入社。出向の販売会社で、全国トップセールスを記録。退職後の平成2年父の跡を継ぎ住職(愛知県岡崎市)となる。「平成の駆け込み寺」として、家出、不登校、ひきこもり、いじめ、自傷行為などの問題を抱える思春期の子どもたちを無償で預かり、全身全霊、体当たりの愛情で接し、子どもたちの自立と社会復帰を支援している熱血和尚。NHK、TBS等多くのメディアに出演し、大きな反響を呼んでいる。著書は、「見えない虐待」(NHK出版)等多数。

